

オンリーワン

バリアフリー
ペーパー

春号

平成26年4月22日発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。

この春から始まった「サイレント・プア」というテレビドラマを見てみました。サイレントプアとは自身の貧困について周囲に相談や援助を求められず、一人で孤独に悩む人々の状態のことを指しているようです。制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組むコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が主人公のドラマです。地域にある課題を垣間見ることが出来、色々と考えさせられます。情熱的な主人公が眩しすぎますが、気になるドラマなので、また見てみようと思います。（支援センター武市）

平成25年度 第2回 西条市障害者自立支援協議会が開催されました

自立支援協議会とは、障がいのある人々がよりよい地域生活ができる社会を実現するために、障がい（児）者の福祉に関する関係機関が情報を共有し、地域の課題解決に向け協議を行うための協議会です。協議会では地域の現状・課題などの情報共有と情報発信、困難事例対応の在り方に対する協議・調整、権利擁護に関する取り組みの展開、地域の社会資源の開発・改善などが協議されます。

西条市では障がい者団体、福祉・教育・医療関係者など、障がい（児）者の地域生活にかかる関係者と西条市役所職員で構成された協議会が設置されています。

平成26年3月27日西条市総合福祉センターにて西条市障害者自立支援協議会が開催され、各専門部会（相談支援部会・権利擁護部会・就労支援部会）の活動報告と提案、障がい者虐待対応事例等から見える課題に関する意見交換がなされました。

また、障がい者就労施設等で就労する障がい者の自立促進に資するため、西条市が行う物品等の調達に際し、障がい者就労施設等からの調達の推進を図ることを目的として、「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進に関する法律（障害者優先調達推進法 平成25年4月1日より施行）」に基づき、「平成25年度西条市障害者優先調達推進方針」が策定されたことも報告されました。

（支援センター 武市）

《福祉事業所の商品を広く紹介している団体》

福祉事業所の代表者などが会員となり、生産及び販売にわたる共同受注・発注等を促進する活動をしている団体を紹介します。

◆愛媛県社会就労センター協議会（セルフ協）

愛媛県内の福祉事業所の様々な商品を紹介しています。（<http://www.ehime-selp.jp/>）

〈事務局〉社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会 TEL：089-921-8353 FAX：089-921-8939

◆えひめ ICT チャレンジド事業組合

データ入力、デジタルデータ化、名刺作成、CAD、Web サイト作成、講習会の開催、映像処理など IT 全般の作業を受注しています。（<http://www.e-ica.com/>）

〈共同受注窓口〉特定非営利活動法人 ふうしすてむ TEL：089-923-5002 FAX：089-923-5020

◆商品購入で復興支援をしてみませんか。（宮城県と福島県の福祉事業所の商品を紹介している団体）

・みやぎセルフ協働受注センター（<http://www.miyagi-selp.org/>）

・福島県授産事業振興会（<http://fjusan.jp/>）



当事者の奮闘記 未来への足跡(あしあと)

以前から「さくらバンド」の取材をしたいと思っていましたが、3月9日(日)の東予学園の学園祭で演奏をするとのお知らせを頂き、「オンリーワン」から編集員5名で出かけました。

学園祭は午前9時半～12時までで、理事長の挨拶や表彰式の後、「さくらバンド」の演奏が始まりました。ピアノの独奏に始まり、キーボードのデュエット、その後ボーカルや他の楽器も加わって「りんご追分」「優しさに包まれたなら」「千の風になって」「枯葉」「ありがとう」などなじみのある曲が演奏されました。はじめて「さくらバンド」の演奏を聞きましたが、ボーカルの男性は声高らかに歌い、楽器を受け持つ人達はそれぞれの楽器を弾いたり打ち鳴らしながらとても楽しげな姿に、みんな心から声援を送っていました。



【さくらバンド演奏風景】



「さくらバンド」は障害者支援施設「東予学園」の利用者を中心に9年前に結成されたグループで、現在ボーカル1名、ピアノ1名、キーボード2名、ドラム1名、ギター2名、タンバリン1名、コンガ1名の計9名のバンドです(別の楽器を弾く場合もある)。そして、音楽好きの職員さんが代々担当し、メンバーの音楽への才能に魅了されながら一緒に演奏を楽しむ活動を続けているそうです。

コンガの演奏をしていた瀬野恵利加さんにお話を聞きました。結成当時からコンガを担当し、今回も左右の手を交互に動かしながら軽やかなリズムを刻んでいました。初めて間もない頃は、「どうしよう、どうしよう」と不安になっていましたが、現在は緊張することもほとんどなくなったそうで、演奏しながらみんなでワッと盛り上がるのが好きなのだそうです。新居浜のジャンドールという本格的なライブハウスで演奏したことが印象に残っていると話してくれました。地域の文化祭や、施設訪問のほか、市外のイベントに演奏に行く事もあるそうです。

ケアホームで生活し、日中は就労支援事業所で働きながら、演奏の日が近くなると練習を重ねます。忙しい月は、週末の予定がびっしりのこともあるそうですが、やはりお客さんの前で演奏するのが楽しみで励みになっているそうです。

「さくらバンド」の堂々とした演奏に大変感動しました。障がいのあるみなさんがこれらの曲をマスターするまでには、何度も何度も練習を繰り返した長い道のりがあったのではないかと思います。

みなさんと職員さんの頑張りが目に浮かびました。今後も様々な場所で演奏を続け、みんなを元気にしていってほしいことだろうと思いました。

(美奈子)

西条点訳奉仕会を訪問しました!

目の不自由な方達のために、文章を点訳したり、点字を教える等のボランティア活動を行う「西条点訳奉仕会」取材させていただきました。



現在メンバーは 9 名で、西条市総合福祉センターを拠点に活動しているグループです。1 点 1 点手作業で行っていた頃から地道な活動を続け 35 年以上の歴史があります。点訳作業はそれぞれが自宅で行い、月 2 回の定例会でお互いのサポートを行い、無理なく続けているそうです。主に、本の点字入力作業を行っています。その他、地元の広報さいじょう、視覚障がい者料理教室レシピ、選挙立候補者の名簿、依頼文章など

の点訳作業を行ったり、年に数回は目の不自由な方や学校の子供達に点字を教えています。点訳図書は全国でまとめて保管されており、愛媛の窓口は点字図書館（愛媛県視聴覚福祉センター）になります。1 冊の本につき点訳は 1 回限りで、自分の点訳した本が全国の人に読まれるということで、完成に半年から 1 年近くかかり大変だけれど、達成感ある楽しみな作業の一つだそうです。

・入力風景・



点字は小さな 6 つの点で構成されています。パソコンも、実際の点字と同じようにキーボードの 6 つのキーだけを使って文字を入力するそうです。みなさんは点字をスムーズに入力されていましたが、それを指で読むことは非常に難しいそうです。

私も目を閉じ指の感覚に集中して点を探ってみました。数が何個あるかを判別することもできませんでした。

市内で広報の点字版を届けるのは 9 名程度とのこと。目の不自由な方達が点字の習得に苦労されることを実感させてもらった貴重な経験でした。



・点字の印刷作業・

今回、活動への思いを取材させていただきましたが、「自宅でできるから」「楽しいからやっている」「点訳した図書を誰かが手にしてくれるだけで満足です」といった皆さんの謙虚な姿勢に頭が下がる思いがしました。翻訳をパソコンで行うソフトも個々に買っているそうです。今後も、陰でささえるような地道な活動が続いていく事で、目の不自由な方達の手元に届く読み物や種類が増え、生活が豊かになっていくのだと感じました。ボランティアを志す我々にはとても貴重な取材をさせて頂きました。これからも「西条点訳奉仕会」の活躍を願っています。（梅野）

【イラスト しんすけ】





「積善山の満開の桜」

同級生と岩城島にお花見に行ってきました。三千本の桜が山頂まで続き花が咲き競っていました。

お天気がよく、空の青さと桜のピンクがマッチして何とも言えない素晴らしい景色でした。

撮影：のぶちゃん



つぶやきの窓 ♪♪ by HIRO



最近、天気のことに興味を持っています。気象庁の天気図を見たり、情報番組の気象予報士の説明を聞いたり、インターネットで調べたりしています。テレビで聞いた用語の一つに「二つ玉低気圧」というのがありました。二つ玉低気圧は日本列島の日本海側と太平洋側(南岸)に一つずつ低気圧がある状態を言い、このような時は、本州付近で上昇気流ができやすく、全国的に大雨や洪水が起こるそうです。この二つ玉低気圧は日本列島を通過した後、日本の東で一つに合体し発達して、爆弾低気圧と呼ばれる大きな低気圧になることが多く、強い冬型をもたらすそうです。他にも、様々な現象を調べ、少しずつ天気図が読めるようになりたいなあと思いました。



←パソコンで描いたイラスト
美奈子さん作

投稿コーナー「たしっぽ」

どの色も 自我あり椿 咲にけり

まっすぐに 春日がさして 過疎の村

岡田 玉子詠

編集後記

オンリーワンの編集委員になって一年が過ぎ、いろいろな方との出会いに感謝するとともに、こちらみなさんから力をいただき嬉しく思っています。

新年度をむかえ気持ちをあらたにし、機関紙発行のために力になっていけるように取り組んでいきたいです。今後も掲載記事を募集しておりますので、私達までお知らせください。(柳瀬)



発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内

TEL：0898-64-2600 (代) FAX：0898-64-3920 E-mail：soudan-saijo@galaxy.ocn.ne.jp